

住居学科

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

住居学科の学生が履修する学科科目群は学科のディプロマ・ポリシーを卒業時に達成できるように、以下の教育課程編成方針に基づき編成されている。

- 住居・建築デザインに関する専門的な知識・技能を習得するため、建築デザイン、生活、計画、歴史、構造・構法、環境・設備に関する講義、演習、実習科目を開講する。
- 建築海外研修や海外の大学等とのワークショップなど、国際性を養う授業科目を開講する。
- 習得した知識を総合し、住居・建築、地域、都市に関わる具体的な課題に対する分析力、課題に対して創造的かつ効果的な解決策を提案（デザイン）し、表現する能力、および論理的に説明・発表し、討論する能力を養成する実践的な演習科目を開講する。
- 情報処理技術等を活用した設計手法、分析・解析手法の習得を目的とした講義、演習科目を開講する。
- 自立的、継続的、計画的に、かつ協調性を持って作業を遂行する能力を養うため実験、演習、設計実習科目を開講する。

なお、学科科目は居住環境デザイン専攻と建築デザイン専攻の共通科目（必修）と専攻別に設定された専門科目（専攻別必修／選択必修／選択）、関連科目（選択）で構成する。共通科目は住居学科の中核をなす6分野の基礎的知識を初年次から網羅的に学び、住居学・建築デザイン学の全体像を把握するとともに、共通言語を身につける。専門科目、関連科目は学生の適正に応じて段階的に専門性を確立できるカリキュラム設計とする。また、その他科目として卒業論文・卒業制作関連科目を開講する。

【学修成果達成のための科目】

- DP1 住居・建築デザインに関わる各分野領域（建築デザイン、生活、計画、歴史、構造・構法、環境・設備）の共通科目（講義科目、演習科目、実習科目）、国際性を養うための海外の大学等と連携した総合演習科目
- DP2 住居・建築デザインに関わる各分野領域の高度な知識、技能養成のための専門科目（講義科目、演習科目、実習科目）、その他（卒業論文・卒業制作関連科目）
- DP3 住居・建築デザインに関わる各分野領域の実践的な知識や技能養成のための専門科目／関連科目（講義科目、演習科目、実習科目）、その他（卒業論文・卒業制作関連科目）
- DP4 住居・建築デザインに関わる各分野領域の実践的課題に取り組む演習科目、その他（卒業論文・卒業制作関連科目）